

シンボルマーク
「こころっぴー」

公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター

ニュースレター
vol.38

こころの輪

犯罪被害者支援に思う

公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター副理事長 林 直康



平成16年4月に新設された岐阜県警察の広報県民課の所掌事務のひとつとしてそれまで各部課に分散していた様々な相談業務が一元化され、被害者対策も担当することとなりました。全国37番目のセンター設立に向けての諸準備は大詰めを迎えてはいましたが、連日業務終了後、現理事長をはじめ県、県警、弁護士会、医師会などの関係者が集まり組織体制、運営方針などについて喧々諤々の協議を重ね、何とか同年6月1日、任意団体としてのぎふ犯罪被害者支援センターの発足に漕ぎ着けたことを覚えております。

また、平成18年4月、中津川市内の元パチンコ店廃屋で発生した女子中学生が男子高校生に撲殺された事件は全国的にも注目されましたが、女性担当官以下県警本部の被害者対策班がいち早く駆けつけ、連日早朝から深夜まで被害者の母親に寄り添って、自宅、葬儀会場などでのマスコミ対応、警察、検察の事情聴取の付き添いなどの対応で事件の早期解決に多大な貢献をしてくれました。

このような縁や実際の被害者支援の活動を目の当たりにして、犯罪被害者支援にはひとつの思い出があります。

ところで、最近の犯罪情勢は、平成14年をピークに減少を続けてきた刑法犯認知件数が街頭犯罪、重要犯罪などの増加により、20年ぶりに前年比増加したと言われ、今後の動向が気になるところです。一方、再犯者率も依然として40%半ばで推移している状況だということです。

また、犯罪の形態もSNS上の「闇バイト」に応募して犯行に加担するなどこれまでなかったような手口の犯罪が発生しており、県内で発生した強盗傷害事件のリーダー格の犯人が東京銀座の高級腕時計店に押し入った犯人グループの一人だという報道もあります。長野県では女性2人、警察官2人が殺害されるという痛ましい事件も発生しております。

このような犯罪情勢ではありますが、センター設立準備当時、支援の前提として被害者等が抱える様々な困難を把握することが大切であることも討議しました。犯罪被害者等がどのような目に遭い、どのようなことを考え、何に悩み苦しんでいるのか、また、どのような支援を望んでいるのか、今直ぐすべき支援は何か、中長期的にはどうか、経済的、精神的支援はどうするなど、また、世間の目、近隣の目、そんな中での日常生活はどうか、担当するのは誰が適任か、支援のタイミングはどうかなど多岐にわたりました。

言葉では簡単に「被害者に寄り添う」などと言いますが、支援されるものと支援するものとの信頼関係をどのように構築するのか、大きな課題であると思っています。

思い出話になりましたが、センターは来年大きな節目となる創立20周年を迎えます。引き続き皆様のご協力とご支援をお願いして結びとさせていただきます。

ぎふ犯罪被害者支援センター

電話相談

☎ 0120-968-783
☎ 058-268-8700

月～金 10時～16時まで（祝日・年末年始を除く）

※上記以外の時間
全国共通ナビダイヤル
(通話料がかかります) 0570-783-554
7時30分～22時(12/29～1/3除く)
メール・面接・移動相談も行っています。



ぎふ性暴力被害者支援センター

電話相談

24時間
ホットライン ☎ 058-215-8349

やさしく
はやくワンストップ
全国共通
短縮番号 #8891 (通話料無料)

(NTTひかり電話からは、0120-8891-77におかけください)

※第2・第4火曜日16時～20時は、男性相談員も待機します。

メール・面接・LINE相談も行っています。

※岐阜県からの委託を受けて行っています。



令和5年度定時総会・理事会の開催

6月22日(木)OKBふれあい会館において令和5年度定時総会を開催しました。

正会員の皆様には、令和4年度の事業報告及び決算報告、役員を選任等についてご審議いただき、いずれも可決・承認されました。

総会に先立ち、6月2日(金)に第1回理事会を、定時総会終了後に第2回理事会を開催いたしました。



当支援センターにご支援をいただいている
団体様に理事長より感謝状を
贈呈させていただきました。(敬称略)

カヤバ株式会社
中央警備保障株式会社
ライオンズクラブ国際協会334-B地区
第1R第1Z、第2Z、第3Z
第2R第1Z、第2Z、第3Z、第4Z



新役員名簿		令和5年7月1日現在
理事長	鈴木 雅雄	元岐阜県弁護士会会長
副理事長 (五十音順)	寺田 道夫	岐阜県臨床心理士・公認心理師協会会長
	林 直康	岐阜社会福祉事業協力会理事長
専務理事	田口由紀男	ぎふ犯罪被害者支援センター事務局長
理事 (五十音順)	加藤 雅之	岐阜県交通安全協会専務理事
	川出 靖彦	岐阜県医師会顧問
	國本真志登	岐阜新聞社取締役統編編集局長
	杉田 憲夫	精神科医
	出口満知子	岐阜県保護司会連合会副会長
	西田 正幸	岐阜県人権擁護委員連合会副会長
	廣瀬 玲子	産婦人科医
	松井 克幸	犯罪被害者遺族代表
	松波 英寿	ライオンズクラブ国際協会334-B地区名誉顧問
	山内沙絵子	日本司法支援センター岐阜地方事務所副所長
監事 (五十音順)	安藤 正弘	岐阜県経営者協会専務理事
	大石 英博	税理士
顧問	古田 肇	岐阜県知事
	大濱 健志	岐阜県警察本部長
	蔭山 英順	元名古屋大学名誉教授・元日本福祉大学名誉教授
	森川 士朗	元岐阜県臨床心理士会会長
参与	池戸 克成	岐阜県環境生活部県民生活課長
	林 敏樹	岐阜県警察本部総務室広報県民課長

犯罪被害者支援功労者表彰

(岐阜県警察本部長・ぎふ犯罪被害者支援センター理事長連名表彰)

長年支援活動に従事してきた支援活動員の表彰を行いました。



平成27年、「被害者支援員養成講座」の募集を見て、私でも役立つことがあればと思い応募しました。講義を聞けば聞くほど不安に駆られたのですが、事務局や先輩方から「その謙虚な気持ちが大事。始めから100%大丈夫な人はいないから」という励ましを受け、7年間続けることができました。今回の受賞は、様々な支援の場に関わりながら、犯罪被害者の方々の声や気持ちをしっかり受け止め、寄り添い、共に考え、こころに届く支援をするために、もっと努力するようとの激励の表彰だと思います。初心を忘れず、研鑽に努めていく覚悟でいます。

7期生 中谷 圭子



あらためて振り返ると、仕事をしながらの研修、日常とは違う聞き慣れない言葉、制度など教わる事ばかりでした。被害に遭われた方々の混乱した気持ち、止まった時間とどう向き合ったら良いか、私自身精神的にも重くのしかかる場面もありました。そんな時力添えをくださった諸先輩方の助言、寄り添う環境を整えていただいたセンター皆さんのお陰と感謝しております。

今後は、初心を忘れる事なく、支援を必要とする人と手を繋ぎ、話す事で少しでも心の自由を取り戻して頂けるような支援活動員として精進してまいります。

7期生 船井 登代子



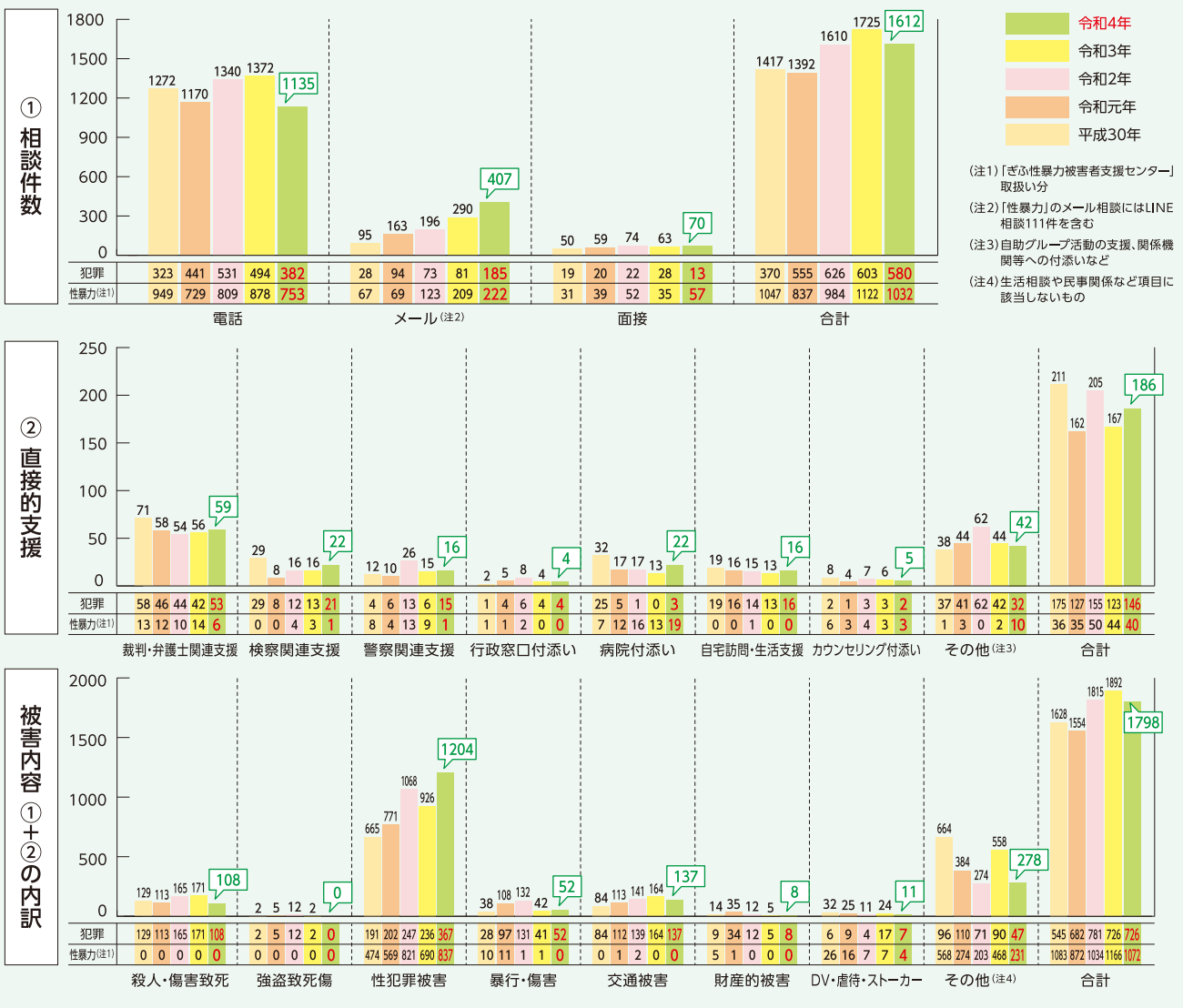
軽い気持ちで支援センターの門を叩いて6年。養成講座、電話当番、学びを深くできた各種外部研修、また相談員研修生の機会に恵まれた3年は支援の基礎から事務局の重責、他機関との連携の意義を知りました。

被害者の方々に寄り添い、最善を尽くしているのかと自問する日々です。支援員は先輩も後輩も同期も、皆被害者の方々の心に添えるよう最善を尽くしている方ばかりです。ここで学ぶ日々、表彰など恥ずかしい身ではありますが、頑張れのエールと思い励みと致します。

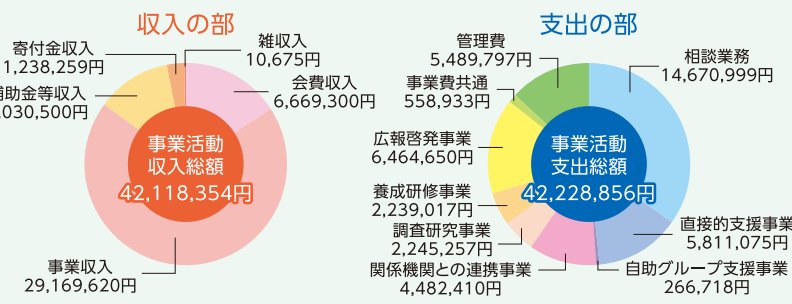
8期生 岡田 理恵子



相談・直接的支援の件数の推移



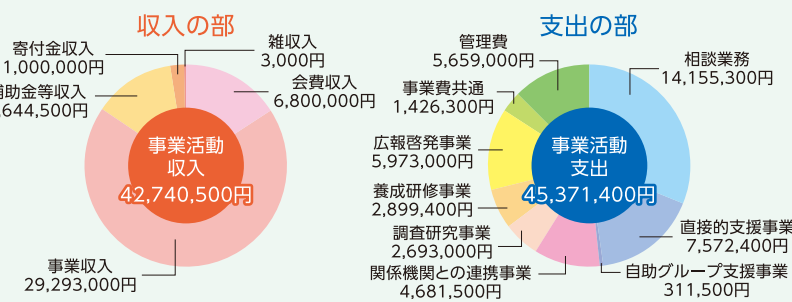
令和4年度収支決算報告



令和4年度事業報告

- 移動相談
 - ・多治見市 12回
 - ・高山市 11回(天候不順により1回中止)
- 自助グループ定例会「ふれあい」11回
- 関係機関・団体との連携
 - ・会議への出席 21回 講師派遣等 14回
 - ・「命の大切さを学ぶ教室」講師付添い 14回
 - ・(公社)福岡犯罪被害者支援センター視察
- 支援員研修
 - ・継続研修・事例検討など 17回
 - ・外部研修 17回
- 広報・啓発活動
 - 講演会・県民講座・パネル展等 20回
- 受託事業
 - ・犯罪被害者等支援コーディネート業務
 - ・犯罪被害者等支援人材育成研修業務
 - ・「ぎふ性暴力被害者支援センター」運営業務
- 運営
 - ・総会1回、理事会2回、運営委員会5回

令和5年度収支予算





センター活動報告 (令和5年1月～6月)

※NNVS:全国被害者支援ネットワーク
 ※★オンライン開催

研修報告

<内部研修>

- 支援活動員研修 (継続研修)

1/6、2/3、3/3、4/14、5/12、6/2



- 事例検討会 1/20、6/20
- SNS相談研修 5/26
- 犯罪被害相談員ミーティング 2/22、5/17

<外部研修>

- NNVS春期全国研修コーディネーター研修前期(東京) 1/26・27
- NNVS春期全国研修コーディネーター研修後期(東京) 2/1～3
- NNVS質の向上研修下半期(静岡) 2/16・17
- 女性の安全と健康のための支援教育センター主催 DV・性暴力被害にかかわる支援員のための研修講座 Aコース★、Rコース(東京) 2/11・12
- 内閣府性犯罪被害者等支援体制整備促進事業 医療関係者等研修★ 2/13
- ワンストップ支援センター センター長・コーディネーター研修★ 2/28
- 内閣府性犯罪被害者等支援体制整備促進事業 相談員研修★ 3/3
- 「女性のヘルスケアを考える集い」(県民ホール) 3/22
- 県男女共同参画・女性の活躍支援センター 相談員研修 6/23

命の大切さを学ぶ教室

- 安八町立登龍中学校 4/12
- 可児市立広陵中学校 4/20
- 笠松町立笠松中学校 4/21
- 白川村立白川郷学園 5/16
- 大垣市立東中学校 5/31
- 郡上市立高鷲中学校 6/1
- 済美高等学校 6/28
- 県立長良高等学校 6/29
- 県立坂下高等学校 6/30



会議の開催関係機関・団体等との連携事業

- 犯罪被害者等支援にかかる市町村職員向け研修 (犯罪被害者等支援人材育成研修受託事業) 1/23
- 岐阜市人権教育・啓発推進協議会 2/3
- 第18回検察庁犯罪被害者支援協議会 2/9
- 交通事故捜査専科 2/13
- 岐阜市犯罪被害者支援連携会議 2/20
- ワンストップ医療部門担当者連絡協議会★ 2/20
- ワンストップ支援センター全国ネットワーク会議★ 2/28
- 被害者が創る条例研究会オンライン意見交換会★ 3/11
- NNVS全国事務局長等会議 4/18
- 人権擁護委員岐山部会総会 講話 4/24
- 犯罪被害者等支援に係る市町村連絡会議★ 5/15
- NNVS定時総会★ 6/13

移動相談

- 多治見市役所 1/11、2/8、3/8、4/12、5/10、6/14
- 高山市役所 2/22、3/22、4/26、5/24、6/28



自助グループ関係

- 定例会 1/22、2/9、3/9、4/10、5/8、6/12



会議の開催

- 運営委員会 2/27、4/21
- 理事会 3/24(書面決議)、6/2、6/22
- 定時総会 6/22



広報・啓発活動

- 犯罪被害者支援パネル展示 (瑞穂市総合センター(現「ココロかさなるCCNセンター」)) 1/16～20
- 広報誌「ころの輪」vol.37 発行 2/6
- 市民活動推進センターパネル展 (ぎふメディアコスモス) 2/16～25
- 若年層の性暴力被害予防月間 街頭広報(JR岐阜駅) 4/26
- 岐阜県交通遺児激励金等寄付団体 イベントパネル展示(エル・アリーヴォ) 5/5
- 男女共同参画・女性の活躍支援センター サポーターパネル展(OKBふれあい会館) 6/26～30

その他

- 公益法人立ち入り検査 1/24

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン(イオン各務原店)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、店頭活動の中止が続く中、関係機関をはじめ、多くの皆様にご協力いただき、約77,000円分の助成(イオンカード)をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



4/15 贈呈式

5月から店頭活動が再開されました。登録団体がBoxを持って立っていますので、皆様ご協力をお願いします。



「支援」の方法は身近なところにあります

＊ 会員(賛助会員)・寄付で支援する

賛助会費及び寄付金は、「特定寄付金」として、税制上の優遇措置を受けることができます。

年会費	
個人	法人・団体
1口 3,000円	1口 5,000円
寄付金 随時受け付けております。	

＊ 「ホンデリング」で支援する

読み終えた本が支援活動に役立ちます。

チャリボン で検索

支援先: 全国被害者支援ネットワーク
個別コード: N10

こちらからもお申込みできます→



＊ 「寄付型自販機」の設置で支援する

飲料代金の一部が犯罪被害者支援活動への寄付となります。設置先を募集しています。



＊ 「募金箱」の設置で支援する

募金箱を設置していただけるお店や企業等を募集しています。



＊ 「イオン黄色いレシートキャンペーン」で支援する

毎月11日にイオン各務原店で活動しています。



＊ ポスターの掲示やリーフレットの配布で支援する

ポスターの掲示やリーフレットの設置にご協力をお願いします。



支援活動員養成講座 第11期のご案内



日程

9月7日・14日・21日・28日・10月5日・12日
※毎週木曜日、全6回、1日6時間

場所

OKBふれあい会館 会議室

※詳細はホームページをご覧ください



犯罪被害者支援講演会 のご案内



日程

令和6年2月8日(木)
13:30~15:30(予定)

場所

岐阜県図書館
多目的ホール

講師

松永 拓也 氏

池袋暴走事故 遺族

一般社団法人関東交通犯罪遺族の会
(あいの会) 副代表理事

詳しくは、支援センター事務局(TEL 058-275-3933 月~金 9:30~16:30)にご連絡ください。

相談無料

秘密厳守

一人にはならない、させない支援の手

ひとりで悩まず、
お電話ください

ぎふ犯罪被害者支援センター

電話
相談

0120-968-783

058-268-8700

月~金 10時~16時まで (祝日・年末年始を除く)

※上記以外の時間

全国共通ナビダイヤル (通話料がかかります) 0570-783-554

7時30分~22時 (12/29~1/3除く)

メール
相談

ホームページの
相談専用フォームから

面接
相談

月~金 10時~16時まで
(祝日・年末年始を除く) ※予約制

移動
相談

多治見市役所 毎月第2水曜日 11時~15時
高山市役所 毎月第4水曜日 11時~15時
※予約もできます



ぎふ性暴力被害者支援センター

センターの運営は、岐阜県からの委託を受けて行っています。

電話相談

24時間
ホット
ライン

やさしく
058-215-8349

全国共通短縮番号 #8891 (はやくワストップ)

※通話無料(NTTひかり電話からは、0120-8891-77におかけください)

※第2・第4火曜日16時~20時は、男性相談員も待機します。



メール相談
ぎふ 性暴力 検索

スマートフォンをお持ちの方は
こちらからアクセス⇒



LINE相談

LINE
での相談はこちらへ
友だち登録してね⇒



シンボルマーク「こころっぴー」

発行：公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター

〒500-8384 岐阜市数田南5丁目14番12号 シンクタンク庁舎

☎058-275-3933(月~金 9:30~16:30) / FAX 058-213-3933

e-mail: jimuj@gifu-vsc.org / ホームページ <https://www.gifu-vsc.org>



発行月：令和5年8月

印刷：株式会社ダイキュー

※この広報誌の作成には岐阜県共同募金会からの助成を受けています。
※この広報誌の作成には岐阜県からの助成を受けています。

